

試験がとても難しく感じたので、メダルを得られるか不安があった中、銀メダルを獲得できてどこか安心したのと同時に、もう少し頑張っていれば金メダルにも手が届いたんじゃないかという悔しさも少しありました。メダル獲得は勿論ですが、化学オリンピックを通して得られたのはそれ以外では化学の基本的な知識、科学やその周辺分野への興味でした。もともと、化学はその応用が身近に多く存在し、また資料集が視覚的に美しかったために面白いと感じていましたが、高校までだと事実の羅列にならざるを得ない部分があります。その事実の裏にある理論や考察を学ぶことで、いくつもの事実が結び付いていく過程は今までで最も興味深かったです。私は中学生の時に元素記号を覚える機会があったときに元素に興味を持ち始め、118個の元素記号と名前を覚えました。118個もあると勉強しても出てこない元素もありますが、化学オリンピックの勉強でその内、約90個と出会いました。その時に抵抗を感じなかったのは覚えたおかげだと思います。

現在、化学は世界の基盤を支える学問となっています。1つの反応を開発することが世界を変えることになると言っても過言ではないでしょう。私は、そうやって世界を変えるきっかけを作れるような人間になりたいと思っています。

私が参加した化学オリンピックは、日本での化学グランプリが予選となり、代表が選抜されました。化学オリンピックは中学生でも出られます。昨年の代表候補に中学生もいたのでチャンスはあります。そして無料なので興味があれば調べてください。



化学オリンピック 銀メダル獲得
3年生 西浦洸平さん

まず金賞を取ることができたとわかった瞬間「やりきった！」という気持ち、「よかった～」と安心する気持ち、そして何より練習の成果を出せたことをとても嬉しく思いました。今年はコロナの影響で練習する時間が大幅に減ってしまい、なかなか前進している感じがせず、とても不安でした。短い時間の中でどうすれば効果的な練習ができるのか悩みましたが、まず基礎の練習は毎日行うこと、そして周りの音を聴く練習に力を入れコンクールまで頑張りました。音楽を楽しんで上を目指すという目標を持ち、日々楽しい雰囲気の中で部活動に取り組んできました。これからも現状に満足することなく更により良い音楽を追求して行ってほしいと思います。

中学生の方々は高校や自分の進路に不安を抱いている人も多いのではないかと思います。私も中学生の時、「ちゃんと進路を実現できるか」「高校でうまくやっていけるか」といろいろ悩んでいました。しかし、高校に入学してからは毎日楽しいことばかりで、部活動でも金賞を取ることができたように、やりがいを感じることもできました。私は吹奏楽部での活動を通して、「自分の力を信じる」ことの大切さを何度も実感しました。中学生の皆さんも自分の力を信じて前に進んでください。新しい新生活が待っています！



吹奏楽部 元部長
3年生 齋尾野々花さん

まさか金賞を受賞できると思っていなかったのですが、とても驚きました。コロナ禍で練習時間も制限がある中コンクールまでに曲が完成するのかという不安もありましたが、金賞を受賞できたのは先輩方の声掛けや部員1人1ひとりの意識が「やるぞ!」という気持ちに向かっていったからだと思います。本番ではみんなが胸を張って楽しかったと言える演奏ができました。

現在は緊急事態宣言発令により、思うように練習ができていませんが、再会できたときに皆で一緒に練習できる楽しさを実感できる雰囲気や漢字ながら練習に励みたいと思います。中学生の皆さんも一緒にこの楽しさを味わってみませんか。



吹奏楽部 部長
2年生 桐野桃花さん